



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月26日

上場会社名 ファナック株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6954 URL <http://www.fanuc.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 CEO (氏名) 稲葉 善治  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 藤井 敬介 (TEL) 0555 (84) 5555  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	390,327	△ 19.9	111,649	△ 35.4	125,120	△ 32.5	92,573	△ 27.3
28年3月期第3四半期	487,591	△ 7.4	172,831	△ 18.4	185,413	△ 16.8	127,301	△ 14.8

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 87,376百万円(△25.6%) 28年3月期第3四半期 117,435百万円(△35.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	477.45	—
28年3月期第3四半期	650.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	1,515,730	1,331,991	87.5
28年3月期	1,512,895	1,334,910	87.8

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 1,325,696百万円 28年3月期 1,328,483百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	281.86	—	208.21	490.07
29年3月期	—	186.20	—		
29年3月期(予想)				—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 29年3月期の期末の配当金につきましては、公表が可能になった時点で速やかに開示する予定です。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	521,000	△ 16.4	140,500	△ 34.8	154,600	△ 32.6	113,300	△ 29.1	584.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.8「3. 注記事項に関する情報 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	204,072,715株	28年3月期	205,942,215株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期3Q	10,212,474株	28年3月期	11,300,237株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	193,890,545株	28年3月期3Q	195,636,338株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記述されている業績予想および将来予想は、主要市場における製品の需給動向、競合状況、経済情勢その他に不透明な面があり、実際の業績は見通しと異なる可能性があることをご承知お願います。なお、平成29年3月期の期末の予想配当金につきましては、公表が可能になった時点で速やかに開示する予定です。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
3. 注記事項に関する情報 .....	8
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	8
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	8
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

決算発表補足資料

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期における当社グループの業績は次のとおりです。

FA部門については、CNCシステムの主要顧客である工作機械業界は、中国において一時的な需要の増加など一部に活発な動きが見られたものの、その他のアジアや欧州などにおいては依然として厳しい状況が続きました。国内においては堅調に推移しました。レーザについては、CO<sub>2</sub>レーザ発振器の需要が減少するなか、引き続きファイバーレーザ発振器の拡販に注力しました。FA部門全体の売上高は前年同期に比べ減少しました。

ロボット部門については、中国が好調に推移し、また国内においても自動車産業向けを中心に堅調でした。一方で米州および欧州において期前半に設備投資の谷間があった影響により、ロボット部門全体では前年と比較すると売上は減少しました。しかし今後はロボット需要の拡大が見込まれるため、筑波工場の一部のロボット製造への転用など、ロボットの生産能力の増強の計画を進めております。

ロボマシン部門については、ロボドリル（小型切削加工機）においてIT関係の一時的需要が一部残っていた前年と比べて売上は減少しましたが、自動車、二輪車の部品加工向けの販売は堅調で、秋には新機種を市場投入し販路拡大を加速させました。ロボショット（電動射出成形機）においても、IT関係の需要停滞が続いた影響で売上は減少しましたが、二材成形オプションの市場投入などにより新たな販路の開拓に努めました。ロボカット（ワイヤカット放電加工機）においても、売上は若干減少しましたが、大型機の市場投入が実績を上げつつあるなど今後は期待されます。

このようななか当社グループは、「one FANUC」、「壊れない。壊れる前に知らせる。壊れてもすぐ直せる。」および「サービス・ファースト」をスローガンに掲げ、当社商品およびサービスについてお客様にご安心いただけるための取り組みをグループ一丸となっていくとともに、FIELD (FANUC Intelligent Edge Link and Drive) systemによるIoTへの対応の準備を加速させるなど、今後の事業の安定と発展のための取り組みを推し進めました。

当第3四半期における連結業績は、売上高が3,903億27百万円（前年同期比19.9%減）、経常利益が1,251億20百万円（前年同期比32.5%減）、四半期純利益が925億73百万円（前年同期比27.3%減）となりました。

なお、部門別の売上高につきましては、FA部門が1,276億78百万円（前年同期比4.6%減）、ロボット部門が1,362億20百万円（前年同期比4.8%減）、ロボマシン部門が691億63百万円（前年同期比53.5%減）、サービス部門が572億66百万円（前年同期比7.3%減）でした。

※ [当四半期決算に関する定性的情報]における「四半期純利益」は、損益計算書における「親会社株主に帰属する四半期純利益」を指します。(当期純利益もこれに準じます。)

(2) 連結財政状態に関する説明

資産合計は、前年度末比 28 億 35 百万円増の 1 兆 5, 157 億 30 百万円となりました。

負債合計は、前年度末比 57 億 54 百万円増の 1, 837 億 39 百万円となりました。

純資産合計は、前年度末比 29 億 19 百万円減の 1 兆 3, 319 億 91 百万円となりました。

なお当社は、当社の株主還元方針（平成 27 年 4 月 27 日公表）に基づき、発行済株式総数の 5% を超える自己株式（1, 869, 500 株、133 億 79 百万円）を平成 28 年 6 月 8 日付で消却いたしました。（本消却に伴う純資産合計額への影響はありません。）

(3) 連結業績予想に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は、不透明な状況が続いています。現時点における連結業績予想は以下のとおりです。

通期

(金額：百万円)

	前回発表予想 (平成28年10月 31日発表)	今回発表予想	増減率
売上高	501, 900	521, 000	3. 8%
営業利益	134, 700	140, 500	4. 3%
経常利益	142, 200	154, 600	8. 7%
当期純利益	104, 100	113, 300	8. 8%

注) 平成29年 1 月から平成29年 3 月までの期間における為替レートは、平均 110円/ドル、115円/ユーロを想定しております。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	686,662	631,914
受取手形及び売掛金	100,307	98,079
有価証券	145,000	145,000
商品及び製品	52,736	59,889
仕掛品	39,206	42,622
原材料及び貯蔵品	11,124	12,163
繰延税金資産	23,107	20,209
その他	16,196	18,838
貸倒引当金	△1,568	△1,503
流動資産合計	1,072,770	1,027,211
固定資産		
有形固定資産		
土地	131,800	133,053
その他(純額)	220,260	265,407
有形固定資産合計	352,060	398,460
無形固定資産		
	3,875	4,572
投資その他の資産		
投資有価証券	65,809	63,489
その他	18,382	21,999
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	84,190	85,487
固定資産合計	440,125	488,519
資産合計	1,512,895	1,515,730

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,815	35,745
未払法人税等	17,199	10,142
アフターサービス引当金	6,676	7,028
その他	57,426	59,180
流動負債合計	106,116	112,095
固定負債		
退職給付に係る負債	68,346	68,379
その他	3,523	3,265
固定負債合計	71,869	71,644
負債合計	177,985	183,739
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	69,014	69,014
資本剰余金	96,206	96,208
利益剰余金	1,269,557	1,272,130
自己株式	△90,574	△90,586
株主資本合計	1,344,203	1,346,766
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,391	7,320
為替換算調整勘定	5,974	△3,364
退職給付に係る調整累計額	△26,085	△25,026
その他の包括利益累計額合計	△15,720	△21,070
非支配株主持分	6,427	6,295
純資産合計	1,334,910	1,331,991
負債純資産合計	1,512,895	1,515,730

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	487,591	390,327
売上原価	253,517	220,330
売上総利益	234,074	169,997
販売費及び一般管理費	61,243	58,348
営業利益	172,831	111,649
営業外収益		
受取利息	1,830	1,678
受取配当金	1,080	1,346
持分法による投資利益	9,032	7,393
雑収入	2,012	4,229
営業外収益合計	13,954	14,646
営業外費用		
寄付金	283	446
雑支出	1,089	729
営業外費用合計	1,372	1,175
経常利益	185,413	125,120
税金等調整前四半期純利益	185,413	125,120
法人税、住民税及び事業税	54,117	34,315
法人税等調整額	3,461	△2,033
法人税等合計	57,578	32,282
四半期純利益	127,835	92,838
非支配株主に帰属する四半期純利益	534	265
親会社株主に帰属する四半期純利益	127,301	92,573



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	127,835	92,838
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,486	2,929
為替換算調整勘定	△6,608	△531
退職給付に係る調整額	△950	1,059
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,356	△8,919
その他の包括利益合計	△10,400	△5,462
四半期包括利益	117,435	87,376
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	117,191	87,223
非支配株主に係る四半期包括利益	244	153

### 3. 注記事項に関する情報

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

- (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成28年5月27日開催の取締役会決議に基づき、平成28年6月8日付で、自己株式1,869,500株の消却を実施いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が2百万円、利益剰余金が13,377百万円、自己株式が13,379百万円それぞれ減少しております。

## 決算発表補足資料

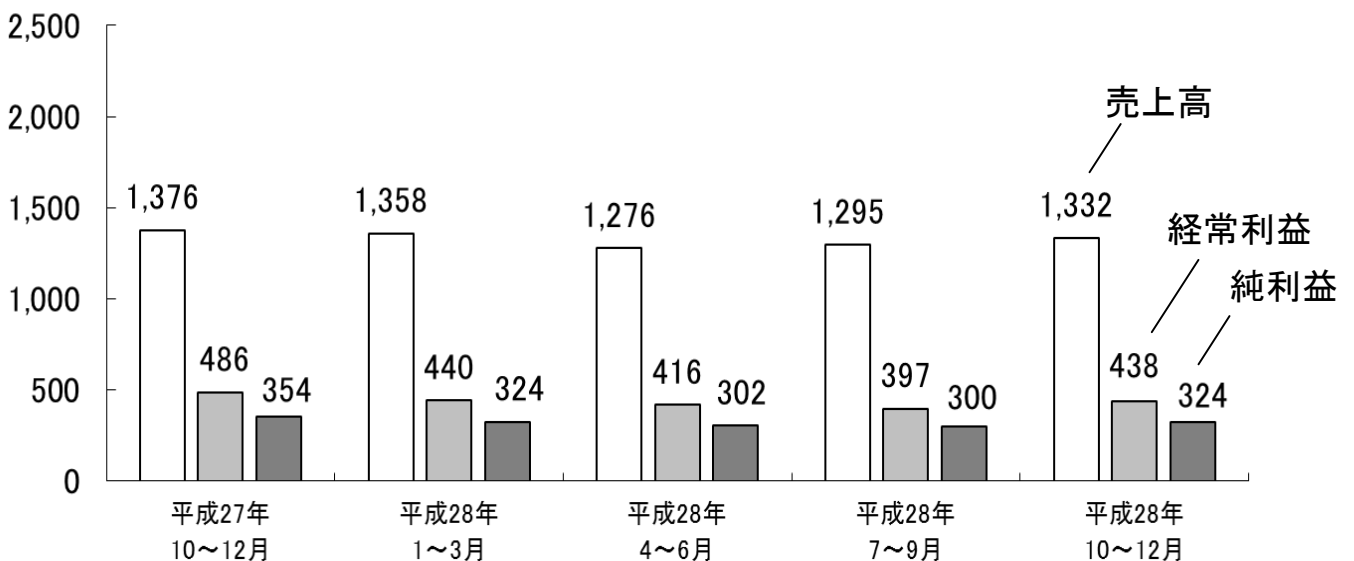
### 1 連結業績（平成28年4月～平成28年12月）

1) 純利益	926億円	(前年同期比 27%減)	
2) 売上高	3,903億円	(前年同期比 20%減)	
3) 営業利益	1,116億円	(前年同期比 35%減)	
経常利益	1,251億円	(同 33%減)	売上高経常利益率 32.1%
4) 部門別売上高			
FA	1,277億円	(前年同期比 5%減)	
ロボット	1,362億円	(同 5%減)	
ロボマシン	691億円	(同 54%減)	
サービス	573億円	(同 7%減)	
5) 受注高	4,046億円	(前年同期比 11%減)	

### 2 28年度通期業績予想

売上高	5,210億円	(前年比 16%減)
営業利益	1,405億円	(同 35%減)
経常利益	1,546億円	(同 33%減)
純利益	1,133億円	(同 29%減)

### 3 連結業績推移（単位 億円）



※ 本補足資料における「純利益」は、「親会社株主に帰属する当期純利益」を指します。